

北陸新幹線敦賀開業に関する要望書

平成28年11月

敦 賀 市

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、敦賀市政の推進につきまして、格別の御指導と御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、北陸新幹線については、国土軸の複軸化により国土の脆弱性を克服し、『国土強靱化』を強力に進める国家施策であります。また、地方の経済成長を促すことにより、一億総活躍社会を実現し、『地方創生』を着実に推進する公共投資であるとともに、観光立国に向けて国内の快適な移動を実現するために必要不可欠な21世紀型のインフラ整備であります。

本市としましては、北陸新幹線の敦賀開業は、地域経済の再生及び地方創生の観点から、大きく明るい道が開かれた訳であります。今後は、観光拠点となっている中心市街地側と周辺地域住民の足となっている在来線とのアクセス向上及び敦賀港・北陸自動車道等といった他の交通機関との連携強化が、都市としての生産性を高め、本市の将来の発展を見据えるうえで、非常に重要であると考えております。

つきましては、次の項目について、特段の御配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年11月18日

財務大臣

麻 生 太 郎 殿

敦賀市長 淵 上 隆 信

1 着実な整備促進について

北陸新幹線の金沢・敦賀間の開業に向け、乗換利便性向上策に必要な予算の確保を含め、着実に整備を進めること。また、敦賀以西については、早期に小浜京都ルートと決定し、合わせて大阪までのフル規格による全線整備を図ること。

2 敦賀駅における乗り換え及び乗り降りの利便性の確保について

平成23年12月の政府・与党確認事項にも記載されている敦賀駅における乗換利便性については、新幹線と特急列車との乗り換えだけでなく、三セク運行列車や新快速等の在来普通列車との乗換利便性についても十分配慮すること。またそれらを解決し、全ての利用者が通学やビジネス及び観光において、ストレスなく快適に敦賀駅を利用できるよう、既存駅施設と新幹線駅舎とを結ぶ、動く歩道(ムービングウォーク)やエスカレーターを含む広くて便利で快適な連絡通路の国による整備を強く要望する。

3 新幹線駅周辺におけるアクセス道路の整備について

北陸新幹線大阪開業までの間、敦賀駅が終着駅として若狭地域をはじめとした広域的な玄関口としての機能を有することから、敦賀港や北陸自動車道につながる国道8号バイパスとのアクセス道路及び周辺市道との接続道路の整備について、国として重点的に支援すること。

4 敦賀駅周辺都市施設の整備について

新幹線駅前広場や駅周辺駐車場等の敦賀駅周辺都市基盤施設の整備は、交通結節点としての機能を高度化し、広域観光の拠点となる交通ターミナル機能の形成にもつながることから、国庫補助対象とした新規事業化と今後の必要予算の配分に配慮すること。



敦賀駅バリアフリー化整備事業

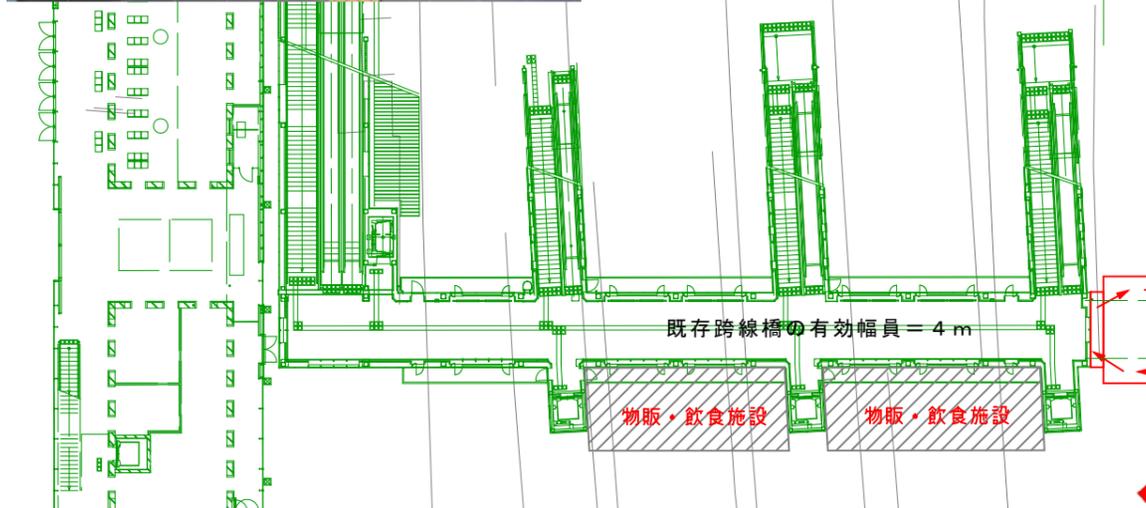
○事業軌間	平成22～24年度
○延長L	55m、幅員W=4m
○総事業費	18億5600万円
(内訳)	
国費	3億7000万円
県費	1億8500万円
市費	10億6100万円
JR	2億4000万円

乗換利便性要望平面図

既存跨線橋 約55m

乗換連絡通路（既存跨線橋～新幹線駅） 約60m

乗換連絡通路の整備イメージ



動く歩道（ムービングウォーク）→

昇りエスカレーター

エレベーター

ESC

階段

←ESC

降りエスカレーター

既存跨線橋の有効幅員（4m）を確保

動く歩道（ムービングウォーク）←

動く歩道（ムービングウォーク）L=約30m

エスカレーターL=約10m

※連絡通路の両外側（窓側）に動く歩道を設置

乗換コンコース（在来線柵内）

待合室やトイレ等



線路直交方向断面図

既存跨線橋 約55m

乗換連絡通路の整備イメージ

既存跨線橋～新幹線駅 約60m

動く歩道（ムービングウォーク）

エスカレーター

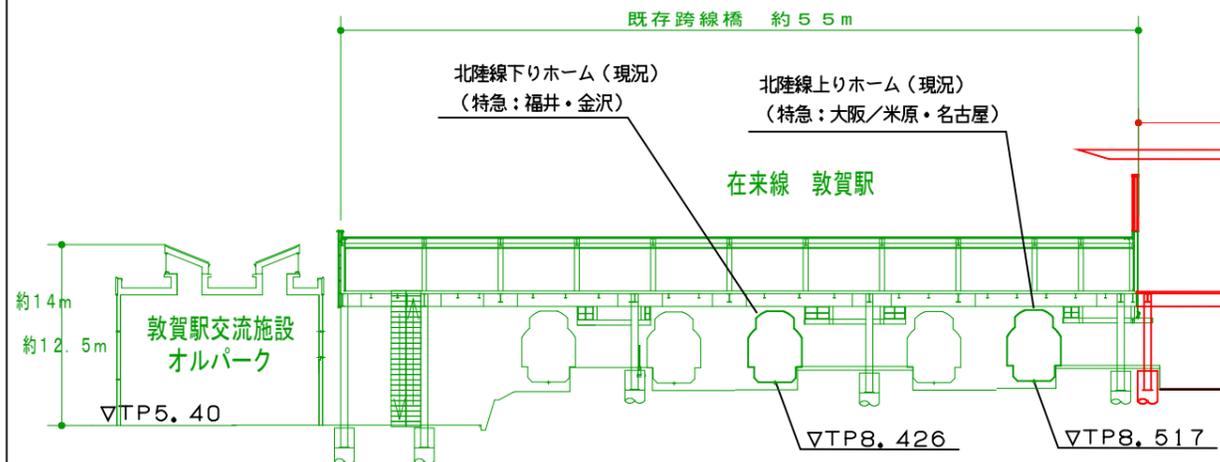
新幹線駅（イメージ）

北陸新幹線（2面4線）

コンコース

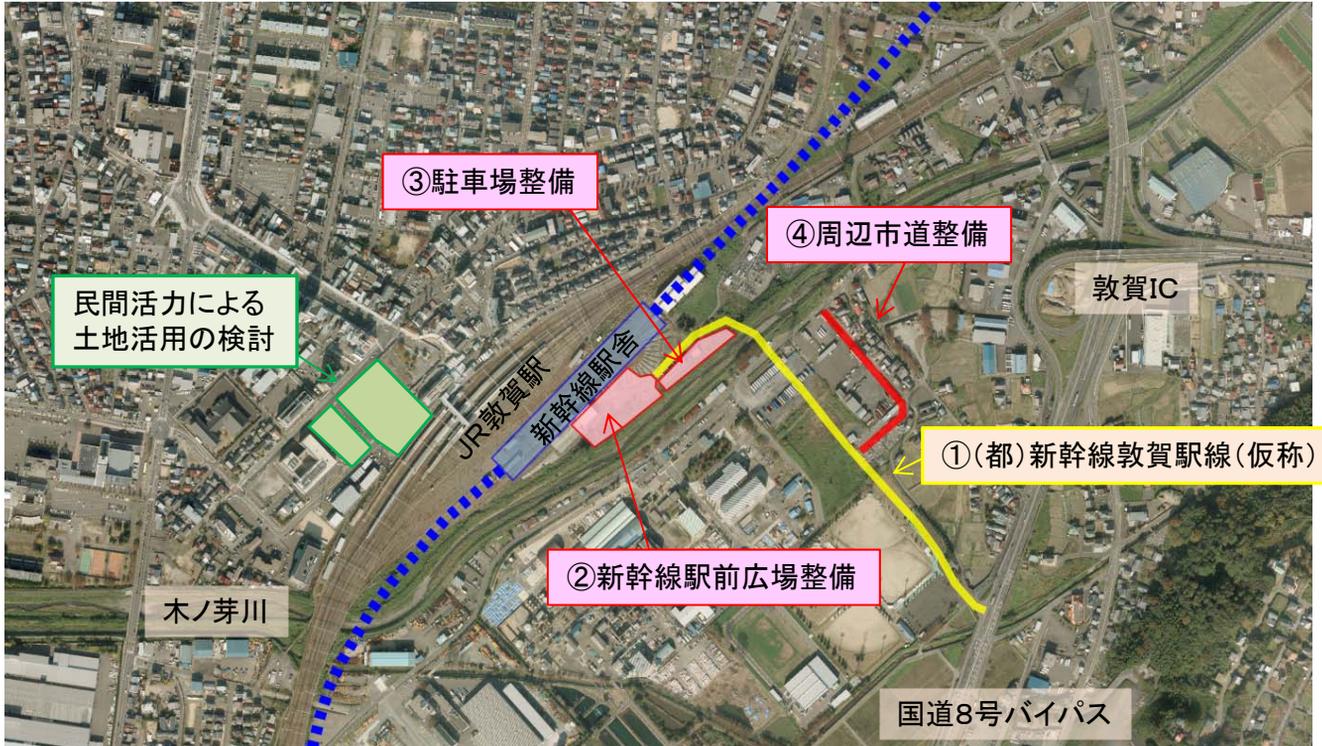
VTP31.35

約20m



※本図面は、敦賀市が独自に北陸新幹線敦賀駅部をイメージして作成したものである。

北陸新幹線敦賀開業に伴う 敦賀駅周辺整備計画



番号	事業名	期間	実施予定主体
①	(都) 新幹線敦賀駅線 (仮称)	H29～H34	福井県
②	新幹線駅前広場整備	H29～H34	敦賀市
③	駐車場整備	H29～H34	敦賀市
④	周辺市道整備	H29～H34	敦賀市

新幹線駅舎とアクセス道路イメージ



整備効果

- ・国道8号バイパスと敦賀駅を繋ぐことによる利便性の向上
- ・敦賀の玄関口にふさわしいシンボル街区を形成
- ・広域観光の拠点となる交通ターミナル機能の形成 (交通結節点強化)

要望事業

- 社会資本整備総合交付金事業
- 防災・安全交付金事業

○北陸新幹線敦賀駅周辺整備による効果

- ・北陸新幹線の終着駅効果を嶺南各地に波及させる基盤づくりとして、アクセス道路や新幹線駅前広場、駅周辺の駐車場等の整備により交通結節点としての機能を高度化し、広域観光の拠点となる交通ターミナル機能の充実を図る。

➡ 交流人口の増加(約1.5倍)、地域経済の活性化

※出典：全国幹線旅客純流動調査（H22）をもとに県試算

